（様式1）

施設指定管理者モニタリングチェックシート

施　設　名	**豊明市ひまわり児童館**
指定管理者名	株式会社日本保育サービス
指　定　期　間	令和7年　4月　1日　～　令和12年　3月　31日
所　管　課	子育て支援課

区分	項　　目	令和7年度　前半期（4～9月期）				令和7年度　後半期（10～3月期）			
		指　定 管理者	指定管理者　備考	市	市　備考	指　定 管理者	指定管理者　備考	市	市　備考
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】								
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A	仕様書に基づき遵守している	A		A	仕様書に基づき遵守している	A	
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A	同上	A		A	同上	A	
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A	常時4～6名の職員体制としている。	A		A	常時4～6名の職員体制としている。	S	市内5館の連携を活かし、施設間で職員を相互支援する体制により安定した運営を実現している
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A		A		A	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A	その日の出来事や来館者の様子について適切に記録している。	A		A	その日の出来事や来館者の様子について適切に記録している。	A	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A	非常時も全職員が同様の対応ができるようマニュアルを常備している。	A		A	非常時も全職員が同様の対応ができるようマニュアルを常備している。	A	統一マニュアルを作成し、利用者参加型訓練を毎月実施している
	【利用者に関する業務】								
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A		S	前年度比＋30.3%（全館平均では＋20.5%）	A		S	前年度比+38.4%（全館平均＋2%）
	中高生の利用確保に向けた取組がなされているか	A		A		A		A	
	【保守点検並びに清掃業務等】								
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A	仕様書に沿い、適切に行っている。	A		A	仕様書に沿い、適切に行っている。	A	
	定期的に清掃、除草、剪定等は行われているか	A	職員による日常清掃に加え必要に応じ除草・剪定作業を行っている。	A		A	職員による日常清掃に加え必要に応じ除草・剪定作業を行っている。	A	
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A	速やかに相談・報告をしている。	A		A	速やかに相談・報告をしている。	A	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A	館内掲示及び声掛けで周知を行っている。	A		A	館内掲示及び声掛けで周知を行っている。	A	
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等は行われているか	A	毎月、管理会社JMに必要に応じて相談している。	A		A	毎月、管理会社JMに必要に応じて相談している。	A	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A		A	本部にて修繕履歴の管理をしている。	A	
	備品は適切に管理しているか	A		S	無償提供されたピンボール台を積極的に活用している	A		A	VRゴーグル等の備品を職員管理エリアで保管して適切な管理を行っている
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A		A		A	
	【事業の実施に関する業務】								
	指定事業は適切に実施されたか	A	仕様書に記載の指定事業を適切に実施した。	A		A	仕様書に記載の指定事業を適切に実施した。	A	関係機関や専門職と連携し、地域の子育て支援に資する事業を展開している
	自主事業は適切に実施されたか	A	紙コップを用いたイベントで、幼児親子～高校生まで広く参加いただけた。適切に実施している。	A		A	子どもたちの興味を引くよう、工夫を凝らした各種工作行事をおこなった。	S	利用者ニーズを捉えた事業を実施し、多くの参加者を集めている
	【個人情報の取り扱い】								
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		A		A		A	
	【①に係る指定管理者の自己評価】	仕様書上で定められた職員配置を遵守しながら運営を行うことができた。 施設長も業務に慣れ、安定した施設管理を行えるようになった。 利用者数としては上期で6,782人となっている。一時預かりにおいては徐々に利用頻度も増えてきているように感じている。 引き続き多くの方が交流を図れる施設になるよう施設長と連携しながら取り組んでいく。				仕様書上で定められた職員配置を遵守しながら運営を行うことができた。 昨年度と比べ来館者数も増加させることができたため、引き続き魅力的な行事を考案、実施していく。			
	【①に係る施設所管課の評価】	前年度比で利用者数30%増を達成しており、地域に根差した運営の成果が顕著である。新設の交流スペースは地域住民からの問い合わせも多く、保護者の協力によるボードゲーム企画の実施の検討や、地元建築会社から無償提供を受けたピンボール台の改良対応など、地域資源を活かした取組が進んでいる。こども会議を毎月実施し意見を運営に反映する仕組みも定着しており、異年齢交流が自然に生まれる環境づくりや、利用状況に応じた柔軟な部屋運用により、安心して過ごせる場が確保されている。また、卓球大会の計画や近隣公民館との協力関係など、今後の発展につながる基盤が整えられつつあると評価できる。	区分評価	A	子育て支援センター事業等の開始に伴う環境変化に対応しながら、課題分析を行い安定した施設運営に努めている。事故対応マニュアルの整備や日誌の共有による情報共有体制を構築するとともに、市との連携による利用促進や、多世代交流スペースを活用した幅広い年齢層への居場所づくりを進めている。また、専門職と連携した子育て支援事業や利用者ニーズを反映した事業、自主財源を活用した行事、5館合同事業などを計画的に実施している。さらに、市内5児童館を運営する強みを活かし、館を越えた職員応援体制を構築することで安定した運営を実現しており、業務は適切かつ効果的に履行されていると評価できる。	区分評価	A

区分	項目	令和7年度 前半期（4～9月期）				令和7年度 後半期（10～3月期）			
		指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考
②サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】								
	窓口対応は適切に行われているか	A		A		A		A	利用者への丁寧な対応を継続し大きなトラブルなく運営している
	アンケート結果等に基づき満足度向上に向けた取組がなされているか	A		S	こども会議を実施し意見を吸い上げている	A		S	こども会議の意見を運営に反映し、利用者視点の施設づくりに努めている
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A	苦情の受付は無かった。	A		A	苦情の受付は無かった。	A	
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A	7月に1件、救急搬送(後頭部からの出血)があったが市へ迅速に報告を行うとともに適切に対応を行った。	S	館長が病院に付き添うなど丁寧な対応を実施している	A		A	
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A		A		A		A	
	モニタリングレポートの評価結果に基づき改善策を実施しているか	A	月次書類の提出方法の改善を図った。	A		A	月次書類の提出方法の改善を図った。	A	
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A		A		A		S	自主財源も活用し、利用者満足度の高い魅力的な事業を実施している
	子どもへの性暴力に対する措置がとられているか	A	入社時に誓約書を提出いただくことに加え、疑わしき事案が発生した場合の対応フローも定めている。	A		A	入社時に誓約書を提出いただくことに加え、疑わしき事案が発生した場合の対応フローも定めている。	A	性加害発生時の対応マニュアルを整備し職員へ周知している
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】								
	クッキングなど食材扱う行事の実施時は検便を実施しているか	A	上半期は実施なし。	A		A	12月にクッキング（パンケーキ作り）を実施。行事に携わる職員が細菌検便を行った	S	仕様書に定めがない中でも自主的に検便を実施し、安全確保に努めている
	気になる子について適切に情報共有ができているか	A		A		A		A	施設長間の日誌共有や情報交換により、情報共有体制を構築している。
	事業者独自のサービス提供を行うなど、利用者の満足度向上に努めているか	A	ボランティアの方を招いた卓球タイムを行うなど満足度向上に努めている。	A		S	講師を招へいした人形劇を開催	S	法人の豊富な運営実績とノウハウを活かした事業展開が行われている
	職員の資質向上に努めているか	S	当社運営施設で発生したアクシデントを全職員に周知し「どうしたら未然に防げるか」ディスカッションを行っている。	A		S	毎月、様々な状況を想定した「ケース検討会」を実施しディスカッションを行うなど資質向上に努めている。	A	施設長同士の情報共有や相談体制を活用し、職員の資質向上を図っている
	【②に係る指定管理者の自己評価】	大きな事故・トラブルもなく上期を終えることができた。 引き続き施設と密に連携を取りながら利用者が安心して利用できる環境づくりに努めていきます。				外部団体を招へいしたや人形劇を開催するなど利用者満足向上に向けて取り組むことができた。 来年度は回数を増やし、幅広く利用促進を目指していく。 毎月実施しているケース検討会で安全配慮の知識向上を促し、それを非常勤職員へも共有している。施設全体での育成の質向上に努めることができている。			
	【②に係る施設所管課の評価】	毎月こども会議を開催し、子ども自身が児童館の運営について意見を出し合う機会を設けている。会議記録には館長のコメントを添えて丁寧にフィードバックしており、子どもたちの発案によるゴーヤの命名や観察活動など、主体的な取組が実際の運営に反映されている。また、子どもへの性暴力防止の観点から、職員採用時の誓約書提出や疑わしい事案発生時の対応フローを整備するなど、安全確保に向けた体制づくりも着実に進められている。さらに、緊急搬送が必要な事案において館長が病院へ付き添うなど、利用者に寄り添った丁寧な対応が行われており、安心して利用できる児童館運営が実践されている。		区分評価	A	利用者への丁寧な対応を継続し、年間を通じて大きなトラブルのない安定した運営を実現している。こども会議では毎回テーマを設定して子どもの意見を聴取し、要望を踏まえた玩具の導入や「秋の絵のコンテスト」の実施につなげるなど、利用者の声を施設運営へ積極的に反映している点は高く評価できる。また、手形制作事業や人形劇観劇会は高い参加実績を上げており、とりわけ人形劇やバルーンアートについては指定管理者が自主的に費用を負担しながら質の高い事業を提供している。さらに、事前の周知徹底により大規模事業をトラブルなく運営したことに加え、衛生管理や子どもの安全確保に関する体制整備も適切であり、利用者満足度の向上に向けた優れた取組が実践されていると評価できる。	区分評価	A
③サービス提供の安定性の確認	事業収支と収支計画書に大きな乖離はないか	A		A		A		A	
	必要な帳簿は備えられているか	A	経理部門で必要な帳簿を管理	A		A	経理部門で必要な帳簿を管理	A	
	経理処理は適正に行われているか	A	適切に処理をしている。	A		A	適切に処理をしている。	A	
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A		A		A	備品等の一括発注によりスケールメリットを活かしている
	団体の経営状況が的確に把握・分析されているか	A	消毒液等の一括購入でコストを削減している。	A		A	消毒液等の一括購入でコストを削減している。	A	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A		A		A	全国で多数の施設を運営しており安定した経営基盤を有する
	【③に係る指定管理者の自己評価】	特に問題なく推移している。				特になし。			
	【③に係る施設所管課の評価】	事業収支と事業計画に大きな隔たりはなく、経理処理等も適正に実施されている。		区分評価	A	衛生用品等の一括発注によりスケールメリットを活かした経費削減に取り組むとともに、全国で多数の施設を運営する法人として安定した運営基盤を有している。効率的な経費管理と豊富な運営実績に支えられた組織体制が確立されており、継続的かつ安定的なサービス提供が期待できる状況であると評価できる。	区分評価	A

【項目評価】

Ｓ（優　良）　：　協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。

Ａ（良　好）　：　協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。

Ｂ（課題あり）：　協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。

Ｃ（要改善）　：　協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

Ｓ（優　良）　：　項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。

Ａ（良　好）　：　項目評価が全てA以上。

Ｂ（課題あり）：　項目評価にBがある。

Ｃ（要改善）　：　項目評価にCがある。